

佐渡における世界遺産の取り組み

佐渡金銀山の世界遺産の取り組みは、平成9年度、市民団体により運動が始まりました。

平成16年3月の佐渡市誕生とともに世界遺産登録事業が始まり、平成18年度からは県と市が共同で登録推進活動を進めています。

平成22年度には「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の名称で、単独の世界遺産暫定リストに記載され、これまで3度国へ推薦書案を提出しましたが、残念ながらいずれも国内推薦は見送られています。

見送り後に、県と市は、国内外の専門家や国の指導を受けながら推薦書案の修正作業に取り組み、今年3月に開催された学術委員会です承をいただき、3月末に改訂版を国に提出しています。

佐渡金銀山の価値は、400年にわたる鉱山社会の変遷が絵巻物などの史料や現地において目の当たりにできる、世界的にも貴重な遺跡です。

貴重な遺跡を将来に残していくために、今年度の国内推薦の獲得と早期の世界遺産登録を目指して全力で取り組みを進めていきますので、引き続き、皆さまのご支援とご協力をお願いします。

世界遺産とは…

1972年にユネスコで「世界遺産条約」が締結され、人類共通の「宝物」を、国際社会が協力して守り伝えるためのルールです。

国内では、平成29年7月末現在で21件の資産（文化遺産17件、自然遺産4件）が世界遺産一覧表に記載されています。



4月は桜も満開の「道遊の割戸」

産業観光部世界遺産推進課
63-5136

～地域の魅力をサポートします～

われら地域おこし協力隊

夢は地域のお母さん

協力隊に着任して、そして佐渡で暮らし始めて1年が経ちました。最初の頃は、どんな活動がしたいかよりも、これからずっと佐渡で暮らしていくために、地域に溶け込みたいという一心でした。

地域のお母さん方に顔を覚えてもらうには、どうすればいいか？ その一つとして、地域や行政と協力しながら健康づくりのための活動を行っている健康推進員さんの活動を見学したり、地区の行事と一緒に舞台上に立たせてもらったりしました。

協力隊を退任しても、地域の一員として関わりを持ち続けたいと思い、担い手を育てる養成講座にも参加して、おかげで人の輪がまた広がりました。

私事ですが、5月に出産を控え健康への関心はますます高まりました。“地域のお母さん”に仲間入りができることを心からうれしく思います。1年お休みをいただきますが、引き続き、よろしく願いします。

産業観光部地域振興課 地域振興係 63-4152

小木地区敬老会で踊りを披露し、元気のおすそ分け



小木町・宿根木地区担当
岩瀬 祥子

地域おこし協力隊活動 ブログ随時更新中！

「佐渡島の情報」を地域おこし協力隊の目線で発信中！
ぜひ、ご覧ください。

